

(別紙様式例3)

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: R6年 7月 日

事業所名: 放課後クラブびのきお かわひがし

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価			改善目標、工夫している点など	保護者の方の評価			評価を踏まえた 改善内容・改善目標
		はい	どちらとも えない	いいえ		はい	どちらとも えない	いいえ	
環境・ 体制 整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	3	6	1	・一か所に集まり過ぎないようにしている。 ・上の階、下の階で人数調整している。	19	8	1	
	2 職員の適切な配置数や専門性は適切であるか	7	2	1		21	7	療育と案内文が入っているけれど手順書やスケジュール、ジェスチャーや絵カード、声掛け等が個別に対応しきれていないように感じる。 ・丁寧に関わっていただき感謝しています。先生方にとって配置が十分かどうかわかりませんので今利用している子には充分かと。	・視覚支援等を用いて、個々に合った環境作りが出来るよう努めていく。 ・具体的な支援方法をスタッフ全員が一貫して対応できるように努めていく。
	3 事業所の設備等については、バリアフリー化、の配慮が適切になされているか	3	5	2	・現時点で特に必要性は感じられない。	19	8	1	
業務 改善	1 業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	7	2	0	朝礼、夕礼、MTGなどを通して理解周知し参画していきたい。				
	2 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	9	1	0					
	3 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8	2	0					
	4 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6	4	0					
	5 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	10	0	0					

区分	チェック項目	事業所の現状評価			改善目標、工夫している点など	保護者の方の評価			評価を踏まえた改善内容・改善目標
		はい	どちらともいえない	いいえ		はい	どちらともいえない	いいえ	
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	9	1	0		25	3	0	流れにそって「できた」「できない」の話ばかりで、できるようになるための計画、支援方法についての話がな い。療育ごっこ、幼稚園ごっこならば預かり重視でよ い。 ・目標設定と進捗状況の確認をとっていく。 ・専門的支援の強化として職員に対する定期的な研修 を実施し、最新の療育技術や支援方法を習得させま す。 ・定期的に保護者と面談を行い、支援計画の説明や家 庭での支援方法についてアドバイスを提供します。
	2 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8	2	0					
	3 活動プログラムの立案をチームで行っているか	9	1	0					
	4 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9	1	0		24	4	0	話し合いを重ね、児童が興味・関心を持てるよう工夫していく。
	5 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	10	0	0					
	6 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	9	1	0					
	7 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	10	0	0					
	8 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	10	0	0					
	9 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	10	0	0					
	10 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	10	0	0					
	11 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	10	0	0					

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価			評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など	はい	どちらともいえない	いいえ		保護者の方のご意見
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	1 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	3	0						
	2 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	9	1	0						
	3 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	6	2	1						
	4 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	5	1						
	5 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	9	1	0						
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	4	1						
	7 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	3	3		12	15	1	わからない	現時点での交流は難しいが、検討を重ねていく。
	8 （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	8	0	2						引き続き、定期的で開催されている部会に参加していく。
	9 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8	2	0		24	4	0	子どもの様子はノートの送りの時に教えてもらえるが、困った時やこれからの目標への手立て、達成については教えてもらえない。支援の内案を詳しく教えて欲しい。	・支援内容や計画について、詳細な説明を行います。具体的には、ノートや面談で支援内容を説明する際に、困った時の対処法や今後の手立てについても必ず言及します。
	10 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	6	3	1						

区分	チェック項目	事業所の現状評価			改善目標、工夫している点など	保護者の方の評価			評価を踏まえた改善内容・改善目標		
		はい	どちらともいえない	いいえ		はい	どちらともいえない	いいえ		保護者の方のご意見	
保護者への説明責任	1	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9	1	0		24	4	0		
	2	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9	1	0		18	10	0		
	3	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	7	1	以前はあったがコロナの影響で中止となっている。	6	14	8	・わからない ・必要性はあまり感じません	年に1回、保護者会は開催するようにしているので、感染拡大防止に努めながら取り組んでいきたい。
	4	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10	0	0		21	7	0	苦情を言ったことがないので	
	5	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9	1	0		23	5	0	わからない	ホームページやインスタグラムの更新や毎月の通信を通して活動を報告している。
	6	個人情報に十分注意しているか	10	0	0		27	1	0		
	7	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9	1	0		25	3	0		
	8	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5	1	4	・コロナの予防中だったため今後はイベント時に声掛けなど行っていきたい。こちらからは児童と訪問を行っている。					・今後感染予防に努めながら行っていけるように検討していく。

区分	チェック項目	事業所の現状評価			改善目標、工夫している点など	保護者の方の評価			評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ		はい	どちらともいえない	いいえ		保護者の方のご意見
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	8	2	0		21	6	1	・保護者への周知徹底して行くための方法を検討していく。	
	2 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	10	0	0		23	5	0	・今後も訓練や勉強会などを通して、職員全体の意識付けをしていく。	
	3 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	10	0	0					・定期的な委員会活動(3ヶ月に1回)を引き続き行っていく。	
	4 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	10	0	0						
	5 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	10	0	0						
	6 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	10	0	0					・継続して朝礼、夕礼、ミーティング時等に共有し対策を行っていく。	
満足度	1 子どもは通所を楽しみにしているか					20	7	1	子ども先生大好きです。いつもありがとうございます。お世話になっております。	・子供が楽しめる活動をミーティング等で話し合い、イベントの設立や内容の充実力を入れていく。
	2 事業所の支援に満足しているか					24	4	0	・よく利用回数について週2回以上の利用が本人の定着に繋がるので望ましいというプリントを配布しても難しいのではないのでしょうか？学校と放デイの両方をこなすのが難しい時、体調を崩して休んだ時にもよくそのプリントが挟んであり申し訳ない気持ちになります。学生で学校生活が本分ですので無理して行かせることは難しいです。 ・入ったばかりのため分からないことが多いので、すみません。	・利用者の学校生活や体調に配慮し、週2回以上の利用を推奨する一方で、無理のない範囲での利用を認める方針を明確にします。 ・利用者が体調を崩して休んだ場合には、体調を最優先に考え、回復後の利用を促すフォローアップを行います。